



外国人介護労働者のワーク・エンゲイジメント適応の解明と支援プログラムの構築

キーワード

外国人介護労働者, ワークエンゲイジメント, 介護施設, 支援プログラム

研究内容

現在、我国の介護領域において、外国人介護労働者の受け入れが進まず、介護人材の確保と離職防止の支援体制の構築が喫緊の課題になっています。研究では、外国人介護労働者が長期間就労するために必要な個人資源が、どのような環境・支援から高められるのか、仕事の充実した状態を示す「ワーク・エンゲイジメント」に焦点をあて、その適応プロセスを解明し、仕事充実感を高める支援プログラムを構築することにしています。インタビューによる外国人介護労働者の仕事適応の実態と支援する管理者の支援の実態の解明、そして、外国人・日本人介護者・管理者の三者が話し合い、介入可能なワーク・エンゲイジメントを高める支援プログラムの構築することを目指しています。

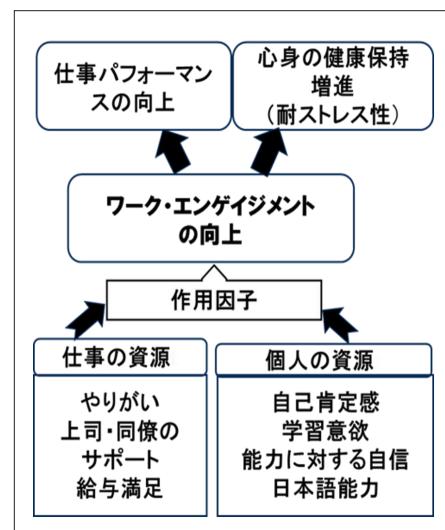


図1 ワーク・エンゲイジメント・適応プロセスモデル概念図

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- 外国人介護者の日本の職場における適応プロセス、第45回日本看護科学学会学術集会、2025.
- 認知症の妻を介護する高齢の夫の介護課題とその克服プロセス。日本認知症ケア学会誌、21(2),314-325,2022.
- 男性高齢者における介護準備態勢の自己評価尺度の開発。日本健康医学会雑誌、30(1), 45-54, 2021.

社会連携・産学連携の可能性

外国人介護労働者の人材育成、日本の職場の受け入れ体制の支援など、外国人介護労働者の教育・職場適応に関する共同研究が可能です。